



横山勝吉会長推薦!

ウチの役員、ココが凄い!

15 伊興仲町会 副会長 照井辰美さん

役員になったのは15年前、56歳の頃。青少年対策部長を長く務め、2年前には副会長に。地域の子どもの活動を支援する団体でも役員を務めるほか、野球やソフトボールのチームにも複数所属。さらに、消防団員も務める。とにかく「多くの人と関わるのが楽しい」という照井さん。

町会活動に積極的なのは、隣近所で助け合うことが当たり前で育ってきたから。「いざという時家族のそばにいらなくても近所で頼れる関係があると安心」。活動実績が信頼につながり、横山会長にとっても「安心して任せられる副会長」。課題は、町会員数の減少と役員の担い手不足だが、自らの姿で「町会の大切さと楽しさを伝えたい」と頼もしい。



伊興エリアの おすすめ

▲金子会長が描いた「荒川と五色桜大橋」

描きたくなる風景を求めて

11 伊興町アパート自治会 金子實会長が語る!

金子会長の趣味は水彩画。生まれ育った群馬県のような美しい自然を求め、近隣の風景を描いてきた。毎年、区で公募している「あだち区展」にも長年参加している。

今回ご紹介するのは、荒川と五色桜大橋を臨むスポット。伊興エリアから車で約15分の場所にある。おすすめは新緑の季節。青々とした緑や川が流れる様と雄大な橋のコラボレーションが楽しめる。撮った写真を見ながら、自宅ですっきりと描くのが金子会長流。ひとしきり風景を眺めた時間があるからこそ、その美しさを絵画に反映したいという思いが生まれる。「足立区には描きたくなる風景がたくさん。みんなにもどんどん見つけてほしいと思うよ」



interview 自治会 入って良かった

伊藤勝広会長推薦!

14 伊興三丁目アパート自治会 久保さんファミリー

伊興三丁目アパート自治会に入ってから2年になる久保さんファミリー。公営アパートは自治会に入ることが基本。最初は戸惑ったところもあるが、今は「入ったおかげで同じアパートの皆さんとお話できるようになった」という。もともと住んでいた民間アパートでは、近隣の人と知り合うきっかけがなかった。公営アパートは長年暮らしている人も多く、気軽に声をかけてくれる。「実家が遠いので、自分の母親と年代の人たちから子育てのアドバイスを聞いて、とてもありがたいです」。普段からお互いによく知っている人たちと一緒に、地域の活動も参加しやすくなった。



久保さんファミリー (父、母、幼稚園児の兄弟2人の4人家族) ▶

私が会長だった頃

取材：原富雄会長

1 伊興町自連顧問 伊興北町会 元会長 (平成2~17年度) 高橋清さん

出身は福井県。伊興エリアで電気工事業を開業し暮らし始めると同時に町会に入会。当時の会長や役員と地域について熱く語り合うことが増え、積極的に活動に関わるようになった。会長就任は平成2年、60歳の時。在任時に心がけたのは「相手が誰であれ、伝えるべきことはきちんと伝える」こと。地域が待ち望んだ東伊興住区センターの新築の際にも使い勝手を考え、構造や広さについて区と粘り強く交渉した。自分たちで管理運営するセンターだという意識が強かったからだ。

平成13~17年度までは伊興町自連の連合会長も務め、現在は当町自連の顧問である。「地域のつながりに助けられてきたからこそ、若い人にも町会・自治会の心強さを知ってほしい。何よりの安心だよ」と語る御年93歳の大先輩。地域を見守る眼差しは会長時代と変わらず優しく、熱い。

縫製に携わってきたお姉さんが手がけた素敵なジャケット!



※伊興英知自治会 (伊興町自連未加入)

ウェルカム、7 西新井四丁目自治会!

樋田憲次会長、歓迎!

コロナ禍で開催できなかった「納涼盆踊り大会」を今年度は「秋まつり」として開催することができた。こうした地域の情報はインターネットで見つけることが難しい。だからこそ、自治会の「掲示板」や「回覧板」で迅速かつ確実に伝えたいという樋田会長。地域のイベント等で顔を合わせる日頃のつながりがあれば、いざという時にも助け合える。

今進めているのは防犯カメラの設置。今年3月までに10台にし、さらに安心して暮らせる地域を目指す。仲間も募集中!



10 伊興南町会 ヒストリー

堀之内晴信会長が振り返る!



伊興南町会の「屋台メシ」が凄い。まずは左の餅つき大会のチラシを見てほしい。豚汁、焼きそば、焼き鳥...と並ぶ。盆踊り大会でも、焼き鳥をはじめとした5種類の屋台が大行列に。すべて100円または200円と激安、しかも美味。人気は焼き鳥で盆踊り大会の際は2日間で5,000本が完売した。なんと、これらの屋台メシは全て町会員が手がけている。

地域の皆さんのために「自分たちの手で屋台を!」と発起してから約10年。前会長の働きかけで、足立区と災害協定を締結するきっかけになった茨城県下妻市との交流も美味しい食材を求めた姿勢がご縁となった。同市での親子農業体験ツアーも毎年実施し、地域内外で今も絆をつないでいる。

コロナ禍落ち着き 町自連事業も本格化

片桐浄子会長のレポート!

3 伊興五丁目アパート自治会

コロナ禍が落ち着き、近隣の皆さんと顔を合わせる機会も増えてきた。ここ数年、中止が続いていた当町自連の事業も本格的にスタートしている。伊興地区対との合同開催である10月の大運動会も開催に向け着実に準備を進めていたが、雨天により中止。一方、11月のバス研修は写真のとおり晴天に恵まれ、雲一つ無い富士山を臨むことができた。地元の人によると数か月ぶりだとか。当町自連の幸先の良さを感じ、皆で地域を盛り上げていく思いを新たにしたい。



富士山レーダードーム館

HOT NEWS

跨線橋代替通路が開通しました

13 伊興町第2アパート自治会

平成17年の悲しい踏切事故を繰り返さないように多くの皆さまが力を合わせ、令和4年3月20日ついに鉄道高架化が実現した。当アパートは竹ノ塚駅前の線路沿いにあり、皆で工事の進捗を見守ってきたので感慨深い。

現在も駅や線路周辺の工事は続き、昨年3月30日に駅前の東西エリアを結ぶ跨線橋代替通路が開通。行き来が大変便利になった。そして、昨年11月24日には当アパートと線路間の道路も整備された。新しくなった周辺地域を自治会の皆で協力して清掃しながら、気持ち良く往来できるようにしたい。



跨線橋代替通路

- 2 伊興西町会 4 伊興四丁目住宅自治会 5 伊興二丁目自治会 6 伊興中央町会 8 西新井四丁目諏訪木町会 9 西新井第三団地自治会 12 伊興町自治会 16 伊興町前沼アパート自治会 17 伊興北根町会 18 伊興東町会 19 狭間町会 20 東伊興町会